

片山浄水所新施設完成 12月1日通水開始

膜ろ過方式にリニューアル！ 片山の地下水を強靱化された浄水所から

片山浄水所の水処理施設は、昭和28年に浄水処理を開始してから68年が経過し、施設の老朽化が進み処理能力が低下してきたため、水処理施設を膜ろ過方式へ抜本的に更新するとともに、災害時でも安定して給水できる浄水施設を構築しました。

現在、膜ろ過方式の総合試験運転を行っており、令和3年(2021年)12月1日から生まれ変わった片山浄水所から安心、安全な水をお届けします。

新施設のポイント

- 安定した浄水処理** 片山地下水の水質に最適な膜ろ過方式を採用
- 災害に強い浄水所** 取水から浄水・排水処理まで浄水所内で自己完結できる
- 水資源の有効利用** 排水処理棟からの排水を浄水処理棟で再処理できる

災害時給水拠点の充実：

災害時の広域的な断水に備えるため、市民がその場で水を受けられる常設型応急給水栓（写真左）と給水タンク車への注水用給水口（写真右）を設置。



工事期間 : 平成28年10月6日～令和4年1月31日

総工事費 : 税込み55.3億円（見込み）

計画浄水量 : 12,750m³/日（現在）（将来は17,000m³/日を予定しています）

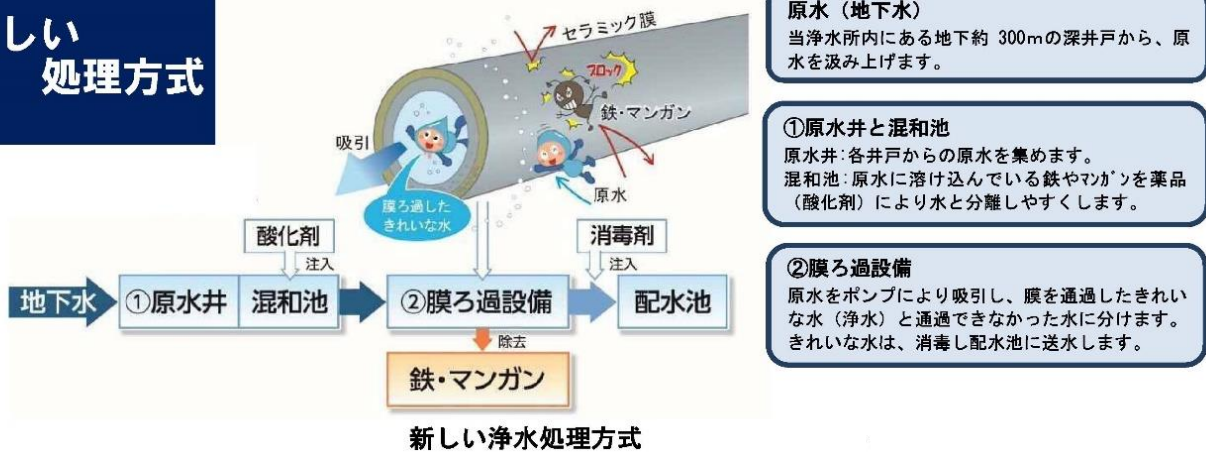


新施設の概要：

	浄水処理棟	排水処理棟
構造	鉄筋コンクリート造、直接基礎	
階数	地下1階、地上4階	地下1階、地上2階
建築面積	1,191 m ²	
延床面積	3,201 m ²	

直径13mmのストロー状のセラミック膜（膜孔径1万分の1mm）約31万本

片山浄水所
新しい
処理方式



資源の有効利用：

浄水処理の過程で発生する鉄・マンガンを多量に含んだ汚泥水は、膜濃縮・脱水処理を行うことで水分を取り出し、再度浄水処理工程に戻します。その結果、汲み上げた地下水の99.5%を無駄なく使うことが可能になります。

これらにより、資源の有効活用を図るとともに、従来下水処理に要していた費用を削減することができました。

新施設完成・通水式典：

日時：令和3年12月22日（水） 午前10時から

場所：片山浄水所 吹田市朝日が丘町26番10号

お問い合わせ先

水道部 浄水室片山再構築グループ（電話：06-6384-1259）